

## 1 プラスチックごみの削減の推進（案）

### （1）計画の背景

プラスチックは日常生活の様々な場面で大きな役割を果たしていますが、河川から海に流出したプラスチックに絡まって動けなくなったウミガメや海岸に打ち寄せられる膨大なプラスチックの映像がメディアで取り上げられ、世界中の人々の関心事になっています。また、プラスチックが紫外線や波で断片化されてできるマイクロプラスチック（通常、直径5mm以下のプラスチックと定義）は、目には見えにくいものの、食物連鎖を通じて生物の体内に入り込み、多くの海洋生物の生死に影響を与えていると推測されています。

これらの影響は、食物連鎖の頂点に立つ人類にも無関係であるとは考えられず、最終的には人間の健康や経済活動へも損失を及ぼすこととなります。

この問題を解決するため、2019（令和元）年のG20大阪サミットでは、海洋プラスチックごみによる新たな汚染を2050（令和32）年までにゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。また、G20エネルギー・環境関係閣僚会合では、各国が海洋プラスチックごみの削減に向けた行動計画の進捗状況を定期的に報告・共有する「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」が定められました。

我が国においては、2019（令和元）年5月、プラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略「プラスチック資源循環戦略」が策定されました。この戦略では、基本原則として「3R+Renewable（再生可能資源への代替）」を掲げ、重点戦略として、リデュース等、リサイクル、再生材バイオプラ、海洋プラスチック対策などについて記載しています。

本区においても、区民や事業者と連携してプラスチックをできるだけ使わない新しいライフスタイルへの転換が求められています。また、本区は廃プラスチックを清掃工場でサーマルリサイクルしていますが、区内には清掃工場がないため、他区に依存している状況です。このことを踏まえて、プラスチックの利用方法について検討する必要があります。

### （2）基本指針

プラスチック問題を解決するためにはリデュース（発生抑制）が基本であり、例えばエコバッグを持参してレジ袋を買わないなど、プラスチックをできるだけ使わない取組が必要です。そして、飲食店等で使い捨てのプラスチックを勧められても断る（Refuse）、プラスチック以外の再生可能な資源を使っている製品に見直すことも重要です。

そのうえで、発生したプラスチックについては、環境への影響を考慮した利用方法について検討する必要があります。

そのため、本区では「プラスチックの使用を減らすライフスタイルへの転換」を目指した施策の展開をしていきます。

### (3) 目標値の設定

国の「プラスチック資源循環戦略」では、2030（令和 12）年までにワンウェイプラスチックを累積 25%排出抑制、プラスチック製容器包装の6割をリユース又はリサイクルする、などを目標として掲げています。

本区では、2019（令和元）年度の家ごみとして排出されたプラスチックの量を、ペットボトルやごみ袋として使用されたプラスチック袋を含めて区民1人1日当たり59.3g/人日と推計しています。この量を発生抑制により毎年令和元年度比2.5%、中間年度の2025（令和7）年度には12.5%、最終年度の2030（令和12）年度には25%を削減し、44.5g/人日とすることを目指します。

また、事業系のプラスチックについても、国及び東京都と協力し、家庭系プラスチックと同程度の削減を目指します。

表1 家庭系廃プラスチック発生量の目標値

	令和元年度 (推計値)	令和7年度 (中間目標値)	令和12年度 (最終目標値)
区民1人1日当たりの 廃プラスチックの発生量 (g/人日)	59.3	51.9	44.5
削減率 (令和元年度比)	—	12.5%	25.0%

### (4) 進捗管理

毎年度の施策の進行状況については、文京区リサイクル清掃審議会に報告し、その改善について幅広い意見を求めています。

また、2025（令和7）年度には、本計画の中間見直しを予定しており、そのための基礎調査として、2024（令和6）年度に家庭ごみ組成分析調査及び区民アンケート調査を実施する予定です。その際、本計画と同様の調査を行い、廃プラスチック削減の進捗状況や区民の廃プラスチック削減に関する認知度や取組等を踏まえ、見直し計画に反映することとします。

### (5) 容器包装プラスチックの分別収集について

東京都では、「ゼロエミッション東京戦略」（令和元年12月策定）において、2030（令和12）年度の東京都独自の目標として、家庭と大規模オフィスビルからの廃プラスチックの焼却量を2017（平成29）年度比で40%削減することを設定しています。

廃プラスチックの焼却量を削減するためには、容器包装プラスチックの分別収集を行う必要があります。しかし、現状の容器包装リサイクル法の枠組みでは、再商品化手法（リサイクル方法）が入札で決まるため、状況によっては温室効果ガスの削減効果が少ない再

商品化手法になってしまう懸念があります。

また、分別収集を実施するためには多額の費用がかかりますので、その費用に見合った温室効果ガスの低減効果が得られるかどうかも課題となります。令和元年度に文京区で実施した区民アンケート調査でも、容器包装プラスチックの分別収集の是非については、「経費と得られる効果を考慮して検討すべき」が49.2%と約半数を占めています。

本区では、容器包装リサイクル法の見直しを東京都や（公社）全国都市清掃会議を通じて国に要請するとともに、分別収集の費用対効果を検討し、状況の変化に応じて、分別収集を検討することとします。

## （6）具体的な施策

### 区の率先したプラスチックごみ削減の取組の推進

- ・職員へのプラスチックごみ発生抑制行動の推進
- ・区が主催する会議におけるペットボトルによる飲料提供の自粛

### プラスチックごみ削減を促進するための仕組みづくり

- ・東京都と連携した事業系プラスチック対策

### 情報収集と普及啓発

- ・事業系プラスチックの排出実態の把握
- ・事業用大規模建築物の所有者への指導・啓発
- ・事業用中規模建築物の所有者への指導・啓発
- ・先進的な取組事例の紹介
- ・特性に応じた多様な普及啓発の推進

### プラスチックの分別回収

- ・容器包装プラスチックの分別回収の検討
- ・容器包装リサイクル法改正への働きかけ
- ・拠点回収拡充の検討

## （7）区民・事業者・区の行動計画

### ①行動指針

プラスチックごみ削減を推進するためには、区民、事業者、区の3者が可能なことから実施する必要があります。そのほか、販売事業者にはプラスチックを使わない製品を販売すること、飲食店には使い捨てプラスチックをプラスチック以外に代替するなどの取組が求められます。

また、区には、自ら率先してプラスチックごみ削減に取り組むとともに、東京都と協働した事業系プラスチック対策や情報提供などの役割が求められています。そのため、各主体の行動指針を次のように設定します。

表2 各主体の行動指針

区民		プラスチックは使わない・断る・見直すを実行します
事業者	一般事業者	プラスチックを使わない商品を購入します
	販売事業者	プラスチックを使わない商品の販売を促進します
	飲食店等	使い捨てプラスチックの使用を見直します
	従業者	プラスチックは使わない・断る・見直すを実行します
区		脱プラスチックに取り組みます
		東京都と協働して事業系プラスチック対策に取り組みます
		情報を収集し、区民・事業者への普及啓発を行います

## ②区民行動計画

区民は、プラスチックごみ削減のため、次のように取り組みます。

### ○情報収集・学習

- ・プラスチックが環境に及ぼす影響等を学習します
- ・プラスチックごみ削減のための具体的な方法について情報を収集します

### ○プラスチックごみ削減の実践

- ・飲食店等で使い捨てのスプーンやフォークなどを断ります
- ・外出時には、マイボトルやマイストロー、マイ箸などを持参します
- ・エコバッグを持参して、不要なレジ袋を断ります
- ・飲み物を買うときは、なるべくびんや缶を選びます
- ・詰め替え製品を選択し、プラスチックごみを削減します
- ・マイクロビーズが使用されていない製品を購入します

### ○適正な廃棄

- ・プラスチックごみが散乱することがないように、適正に廃棄します
- ・街の美化運動などプラスチックごみの散乱を防止する運動に参加します

## ③事業者行動計画

区内の事業者は、プラスチックごみ削減のための事業活動として、次のように取り組みます。

#### ○一般事業者・従業者

- 備品や消耗品の購入に際しては、化石資源由来のプラスチックを使用しない製品を選びます
- ウォーターサーバーやマイカップを使って、使い捨てプラスチック製品を使わないようにします
- 社員食堂等では使い捨てのプラスチック食器類を廃止します
- イベント等における使い捨てプラスチック製品の使用を見直します
- 従業者は、区民と同様の取組を実施します

#### ○販売事業者

- プラスチック以外の再生可能な資源を使っている製品を取り扱い、消費者の選択肢を広げます
- 使い捨てのスプーンやフォークなどは、希望する人だけに渡します
- 環境への影響を考慮した上でバイオマスプラスチックを使用します
- 包装のサイズを適正化して、プラスチックの過剰な使用を減らします

#### ○飲食店等

- お弁当は何回も使える弁当箱やプラスチック以外の容器で販売します
- 使い捨ての食器類をやめて、紙製や繰り返し使えるものにします